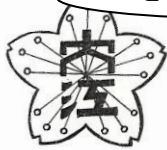


運動会の練習を怪我で見学している男の子と女の子がテントで座っていました。運動会も団体種目には出られない様子。「残念だったね」と声をかけると、「僕たちにも太鼓をたたくという役割があります。だからそれを頑張ります！」と明るく話してくれました。えらいな～。今の状態でできることを精一杯やる。前向きに運動会に取り組もうとしている気持ちにとっても感激しました。



# 大江の風

11月6日  
No.101



## 11月の学校朝会は教頭先生のお話

校長が出張で不在だったので、11月の学校朝会の講話を教頭先生にお願いしました。ミッションは、「初めて心かがやけ月間を体験する1年生が、この取り組みがどういものかよくわかるように伝える。」でした。教頭先生はここ1週間、子どもたちの生活をよく観察し、「心が輝いている瞬間」の写真をたくさん撮っていました。そして、誰にでもわかるように、心が輝くとは・・・という話をしてくれました。①あいさつをする ②ルールを守る ③思いやる(優しくする) ④助け合う ⑤ボランティアをする。そういう行為をしている時、心が輝いています。そして小泉吉宏さんの『一秒の言葉』という詩の話がありました。さておうちの方に問題です。( )に入る言葉は何でしょうか？



『一秒の言葉』

はじめまして この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることがある

- ( ) この一秒ほどの短い言葉に 人の優しを知ることができる
- ( ) この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることがある
- ( ) この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある
- ( ) この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある
- ( ) この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命一秒



答えは、上から「ありがとう」「がんばって」「おめでとう」「ごめんなさい」「さようなら」です。とってもよい心にしみる詩ですね。たった一秒の短い言葉でも、人の心を温かくすることができます。しかし、同じ一秒でも「ウザい」「キモい」など相手を傷つける言葉がたくさんあります。これらは、ナイフのように人を心を刺す言葉であり、相手との関係を断ち切る言葉です。本当にこういう言葉が聞こえてくると悲しくなります。心が悲しくなります。普段、何気に使っている言葉こそ、大切にしなければいけないし、心を込めて使わなければいけません。人からどんな言葉をかけられたら温かくうれしい気持ちになるのかよく考えて、会話したいものですね。教頭先生からとてもよいお話が聞けましたね。みんなよかったね。

たくさん質問していました。時間切れになったのであとは先生からメールで聞いてもらいます。3年生はとても積極的に学習していましたね。素晴らしい！

## 3年生の社会科です

3年生は社会科見学でフードパルに行きました。そこにある橋本醤油やさんで当日お話を聞く予定でしたが、ちょっと密になるので、後日本校に来ていただくことになりました。ありがたいですね、味噌の話、醤油の話、甘酒の話、こうじ菌の話など。そしてなんと、今年大臣賞をとった貴重な醤油の味見や、甘い醤油の味見もあり、子どもたちはとても喜んでいました。そして「たまごかけ醤油」を一人1本プレゼントしてくださいました。このたまごかけ醤油は、橋本さんがPTA会長の時に朝ごはんを食べてこない子どもたちが多く、親に頼らず火を使わず子どもたちが自分の力で朝ごはんを食べることができるようにと考案された醤油です。まさに「どうにかする力」ですよ。実は橋本さんは私が一新小学校長の時に大変お世話になった、一新まちづくりの会の重鎮です。人と人とのつながりのありがたさを退職前にすごく感じている今日この頃です。子どもたちが笑顔で学習していて、とても嬉しかったです。



運動場では2年生がかわいくかっこよく踊っていました。きまってるね！